

問 北部地域の交通利便性向上について①ミニバス北路線は2年に大幅減便。現状と課題は②デマンド型交通の、主要駅まで行くことができる運行ルートの実現に向けた現状は③調布駅から消防大学方面に向かう路線の終便の延長を④公共交通実証実験の検証と今後の展望は⑤今後、巡回ワゴンバスを本格導入する際は、地域住民からの要望の実現に努めるべき。見解は⑥北部地域に「シェアサイクルステーション」の増設を⑦バス停近くに自転車を駐輪してバスに乗り換えるできる「サイクル・アンド・バスライド」の設置促進を。

問 猛暑が続く昨今における学校プールの稼働率と参加率は。**教育部長** 7年度1学期末時点稼働率約95%。参加率は個別事情による見学や欠席で様々。欠席した場合のフォロー体制は。**教育部長** アンケート実施で保護者と連携し把握。見学や欠席後は意向を聞き取り適切に対応。

問 学校プール老朽化に関する状況の把握と改修及び維持管理に応じ、周期的な改修工事実施。全校での年間の維持管理費用約

問 下水道管事業にDX技術の導入を



市内中学校のプール

問 1千600万円、水道代約2千万円。**教育部長** 教員の現場からの声をどのように把握し対応しているのか。

問 猛暑によって中止等が相次いでいる各小学校のプール開放事業の現状と、今後の展望は。

問 8年度以降は、経緯等を踏まえ、学校開放運営委員会と協議検討。その見解。市民プールの今後は。

問 下水道管の老朽化対策について①道路陥没の主な原因是、下水道管の老朽化。市の老朽化対策の現状と課題は②下水道管ドローンのDX技術の導入を。

問 次期「調布市地域防災計画修正」に向け、重視する点は。**市長** 全国での災害対応の課題を踏まえ修正。

問 大規模災害時に調布市民の命を守る具体的な対策を

問 災害時つながりやすい特設公衆電話を多くの避難者が集まる施設に設置すべき。

問 特設公衆電話設置と同様に携帯電話充電用蓄電池の設置を。

問 防災無線・避難情報・リニアティブ等の実態把握と働きかけは。

問 ピロティ階ある旧耐震マンションの実態把握と働きかけは。

問 調布市地域防災計画(左)と災害時初動行動マニュアル(右)



調布市地域防災計画(左)と災害時初動行動マニュアル(右)

問 東京都児童相談センター・児童相談所のサテライトオフィス。児童虐待に的確かつ迅速に対応するとともに、地域の実情に即したよりきめ細かな児童相談体制を構築するための連携拠点。

問 ルタイム避難所情報などの防災アプリを。また、避難が困難な要支援者と支援者をつなぐ災害時マッチングアプリの運用を。

問 オンで防災行政無線の内容を音



持続可能な市内公共交通施設。プロの管理運営を目指すために

井上 耕志 (チャレンジ調布)



問 北部地域の交通利便性向上について①ミニバス北路線は2年に大幅減便。現状と課題は②デマンド型交通の、主要駅まで行くことができる運行ルートの実現に向けた現状は③調布駅から消防大学方面に向かう路線の終便の延長を④公共交通実証実験の検証と今後の展望は⑤今後、巡回ワゴンバスを本格導入する際は、地域住民からの要望の実現に努めるべき。見解は⑥北部地域に「シェアサイクルステーション」の増設を⑦バス停近くに自転車を駐輪してバスに乗り換えるできる「サイクル・アンド・バスライド」の設置促進を。

外交部長 ①バス事業者と補助金支出の協議。深刻な運転手不足に伴い採算路線さえ厳しい状況で増便は困難②駅へ向かう路線バスに乗り換える乗降ポイントを3か所追加し駅へのアクセス補完③深刻な運転手不足や利用者減少で実現困難④乗車方法が分かりやすく持続可能な性が高い定時定路線型の巡回ワゴンバスが、より地域の移動サービスに適していると認識。検討進める⑤地域住民への情報提供や意見聴取を丁寧に行う⑥設置数少ない深大寺東町にサイクルステーション設置推進⑦調布市自転車活用推進計画にサイクル・



デマンド型交通

環境部長 今年夏の猛暑の経験を8年以上、どう対策に生かすか。熱中症対策の周知と市の取組は。守る猛暑対策に取り組む。

市長 引き続き、熱中症予防の周知を図り、市民の命と健康を守る猛暑対策に取り組む。

生文部長 クールスポットの設置拡大が求められるが、公共施設以外への拡大と暑熱対策の視点を持つ公園管理の取組について問う。

環境部長 民間施設へ呼びかけ、た公園管理の取組について問う。が求められるが、公共施設以外への拡大と暑熱対策の視点を持つ公園管理の取組について問う。

教育部長 国・都の通知等に沿った対策を学校に周知している。

生文部長 热中症等の事故時に指導者の責任が問われることについて、施設の利用環境については改善策を段階的に進めていく。

外交部長 今夏の猛暑の経験を8年以上、どう対策に生かすか。熱中症対策の周知と市の取組は。守る猛暑対策に取り組む。

外交部長 調布駅前広場周辺の駅前での自転車利用はナッジ手段計画に基づき対応。人材不足や財源確保が課題、更なる重

環境部長 ①ストックマネジメント計画に基づき対応。人材不足や財源確保が課題、更なる重



内藤美貴子 (公明党)

下水道管事業にDX技術の導入を



自転車の安全利用を問う

丸田 絵美 (チャレンジ調布)



北部地域の交通利便性の向上・下水道管事業にDX技術の導入を



災害級といわれる猛暑への対策と、自転車の安全利用を問う



環境部長 アンド・バスライドを位置づけ。

介護DX DXはデジタルトランスフォーメーションの略。介護分野においてICT(情報通信技術)を活用し、限りある資源の有効活用と質の高い効率的な介護サービス提供体制を確保することで、要介護者や介護従事者の満足度

外交部長 下水道管の老朽化対策について①道路陥没の主な原因是、下水道管の老朽化。市の老朽化対策の現状と課題は②下水道管ドローンのDX技術の導入を。

環境部長 ①ストックマネジメント計画に基づき対応。人材不足や財源確保が課題、更なる重

外交部長 下水道管の老朽化対策について①道路陥没の主な原因是、下水道管の老朽化。市の老朽化対策の現状と課題は